

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2014年32週 (8月1週 8/4~8/10)

2014年7月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

腸管出血性大腸菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、エボラ出血熱について

定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱、手足口病等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(34)、腸管出血性大腸菌感染症(5)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、急性脳炎(2)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(1)、梅毒(1)

2014年7月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

腸管出血性大腸菌感染症(表)

愛知県の2014年報告数(診断週別)は8月13日現在67件、うち有症者報告数は51件、溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は5件です。

2013年の同時期(1~32週)報告数は80件、報告総数は211件(うちHUS発症例9件)でした。

【参考ページ】腸管出血性大腸菌

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4

ヘルパンギーナ(図1)

32週の定点当たり報告数は3.37、31週733人32週613人(0.84倍)です。

【参考ページ】ヘルパンギーナが流行しています(豊橋市)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/19527.htm>

手足口病

32週の定点当たり報告数は1.23、31週266人32週223人(0.84倍)です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

32週の定点当たり報告数は0.77、31週174人32週140人(0.80倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

エボラ出血熱について

【参考ページ】エボラ出血熱について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ebola.html>

エボラ出血熱に関する対応について(情報提供)(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dl/20140807_01.pdf

<注目すべき感染症>西アフリカ諸国におけるエボラ出血熱の流行 2014年(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/1095-disease-based/a/viral-hemorrhagic-fever/ebora/idsc/idwr-topic/4902-idwrc-1430.html>

表 腸管出血性大腸菌感染症のO血清型別報告数(愛知県、2014年は8月13日現在)

O血清型	2011年	2012年	2013年	2014年
O157	98	99 (1)	128 (2)	42 (4)
O111	1	8	2	11
O26	6	36	45	9
O103		5	10	1
O121	3	2	7	1
O165		1	1	1
O145	2	3	1	1
その他、不明	11 (4)	9 (1)	17 (7)	2 (1)
報告数総計	121 (4)	163 (2)	211 (9)	67 (5)
[うち有症者数]	[88]	[104]	[153]	[51]

()内は溶血性尿毒症症候群(HUS)発症者再掲

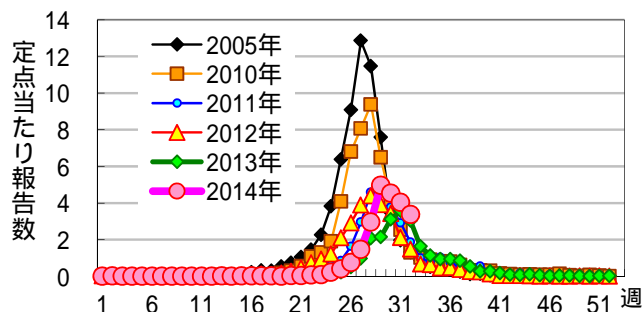


図1 ヘルパンギーナ

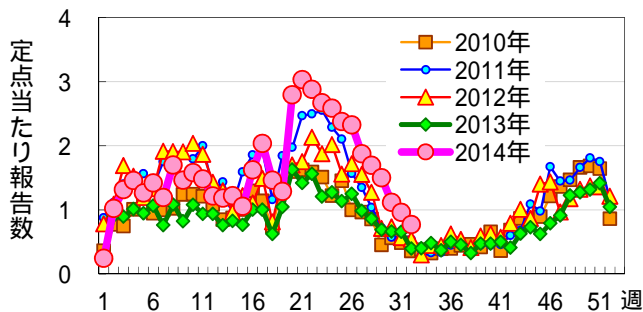


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

感染性腸炎

2歳女 カンピロバクター

6歳女 サルモネラO8群

【一宮市 あさのこどもクリニック】

8歳男 カンピロバクター腸炎

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

夏かぜが、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病と少しずつ流行っていますが、りんご病は見られません。

脱水症状と思われる症例では低K血症が目立ちます。

【犬山市 武内医院】

手足口病 再び増加しています。

溶連菌感染症 少々

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ヘルパンギーナ 多発

水痘、アデノウイルス感染症も目立ちます。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザはオーストラリアからの帰国者です(A型)。

【愛西市 医療法人谷本医院】

尾張東部地区

ヘルパンギーナ、手足口病 共に小流行程度
その他、溶連菌、水痘 散発
発熱のみの症例多く見られます。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型 1名

【長久手市 医療法人水野内科】

夏かぜは例年並みです。

ムンプス難聴もそこそこありそうです。

【春日井市 春日井市民病院】

7歳女 カンピロバクター

4歳女 カンピロバクター

夏かぜ 続発中

感染性胃腸炎 増加

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

RSウイルス感染 3例

咽頭結膜熱 5例

溶連菌感染 8例

ヘルパンギーナ 8例など

【小牧市 志水こどもクリニック】

14歳男 カンピロバクター(+)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

サルモネラ腸炎 2名

(ともにO7 7歳・4歳で家族ではありません)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

イムノエース StrepA(+) 3歳男 6歳男

サルモネラ腸炎(O7) 13歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 1人

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

1歳女 病原性大腸菌O6(+)VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

病原性大腸菌O6(+) 1歳女

サルモネラO4群 11歳女

全体として夏カゼ減少傾向です。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

アデノウイルス感染症 4歳男

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

病原性大腸菌O25 1歳女

病原性大腸菌O6 5歳男

【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2014年8月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun140726.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2014年32週報告数			2014年総計(1～32週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	14	7	1	461	128	123
豊田市	2	2		43	10	15
豊橋市	2		1	43	11	14
岡崎市	3	2		39	19	7
一宮	3	1	1	110	28	35
瀬戸	4	1	2	86	16	31
半田				24	11	7
春日井	1	1		54	13	10
豊川				41	17	10
津島				43	11	16
西尾				29	14	5
江南				32	9	8
新城				3	1	1
知多				52	13	17
清須	3		1	32	5	12
衣浦東部	2	1	1	59	17	16
合計	34	15	7	1,151	323	327

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	61歳	男	8/4	8/6	8/7	O157、VT1(+) VT2(+)
2	名古屋市	42歳	男	-/-	8/4	8/6	O26、VT1(+) 無症状病原体保有者
3	瀬戸	5歳	女	7/16	7/20	8/5	HUS発症例
4	瀬戸	33歳	女	7/28	7/29	8/5	O157、VT1(+)
5	豊川	9歳	女	7/31	8/1	8/5	O111、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	知多	24歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	女	腸管アメーバ症	不明	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	知多	3歳	女	その他(アデノウイルス41型)	国内
2	知多	0歳	女	病原体不明	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	名古屋市	73歳	女	古典型

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	江南	26歳	男	無症候性キャリア	不明	不明

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	一宮	55歳	男	早期顕症	性的接触	国内

7月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲。〕

2013～2014年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2014年7月			2014年	2013年	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (5)	結核	103 (33)	79 (16)	182 (49)	1,114 (317)	1,915 (468)	
三類 (5)	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	16 (2)	
	腸管出血性大腸菌感染症	24 (5)	8 (1)	32 (6)	61 (14)	211 (58)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	
四類 (43)	E型肝炎	0	0	0	1	2	
	A型肝炎	0	0	0	7	4	
	チクングニア熱	0	0	0	0	1	
	つつが虫病	0	0	0	0	4	
	デング熱	0	2	2	6	14	
	マラリア	0	0	0	1	8	
	レジオネラ症	5	2	7	30	64	
五類 (18)	アメーバ赤痢	4	3	7	46	62	
	ウイルス性肝炎	1	1	2	9	16	
	内訳	B型	1	1	2	8	7
		その他	0	0	0	1	9
	急性脳炎	1	0	1	9	25	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	1	8	10	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0	2	11	8	
	後天性免疫不全症候群	0	3	3	60	99	
	内訳	無症候性キャリア	0	3	3	38	64
		AIDS	0	0	0	21	33
		その他	0	0	0	1	2
	ジアルジア症	0	0	0	1	2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*	1	0	1	10	13	
	侵襲性髄膜炎菌感染症*	0	0	0	1	0	
	侵襲性肺炎球菌感染症*	4	2	6	76	76	
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	2	
	梅毒	3	4	7	75	54	
	内訳	無症候	3	0	3	38	25
		早期顕症	0	3	3	32	24
		晩期顕症	0	1	1	5	5
破傷風	1	0	1	1	5		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	6		
風しん	1	0	1	17	375		
麻しん	2	1	3	46	25		
総 計		153	106	259	1,595	3,022	

* 2013年4月1日から、5類感染症(全数把握対象疾患)に「侵襲性インフルエンザ菌感染症」及び「侵襲性肺炎球菌感染症」が追加されました。なお、この2疾患()を除く細菌性髄膜炎については引続き基幹定点把握対象疾患です。同じく5類感染症の「髄膜炎菌性髄膜炎」が「侵襲性髄膜炎菌感染症」に変更されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2014年7月			2014年 累計	2013年 総計
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	82	50	132	928	1,746
	性器ヘルペスウイルス感染症	26	29	55	394	707
	尖圭コンジローマ	21	14	35	213	382
	淋菌感染症	28	32	60	401	708
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	90	10	100	673	1,212
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8	0	8	33	84
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	4	9
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2014年7月			2014年 累計	2013年 総計
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	1	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2014年7月26日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (44疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症* (2疾病)	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2013年5月6日に指定感染症に定められた「鳥インフルエンザ(H7N9)」は、指定感染症としての指定期間が1年間延長されました。2014年7月26日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」が指定感染症に追加されました。

愛知県感染症情報

2014年32週(2014年8月4日～2014年8月10日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ 定点	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	インフルエンザによる入院患者
計	4	16	44	108	332	66	146	3	82	1	511	59	0	9	0	1	2	1	0	0
～6ヶ月		3			3				2		3									
～12ヶ月		1	1		32	5	5		37	1	31			1						
0歳																				
1歳		9	2	2	44	10	32	2	35		109	2			1					
2歳		2	4	4	29	10	35		7		117	5								
3歳	1	1	8	11	29	16	22				86	8								
4歳	1		8	23	22	11	20		1		71	9								
5歳			9	18	27	5	13				43	15								
6歳			5	6	15	4	12				23	7								
7歳			1	9	16	1	2				17	2								
8歳			3	11	16	1	1				4	5								
9歳			1	5	9		2	1				1								
5歳～9歳																				
10歳～14歳	1		2	13	26	1	2				7	4								
15歳～19歳	1			2	3															
20歳～				4	61	2						1								
20歳～29歳														2						
30歳～39歳														5						
40歳～49歳														1						
50歳～59歳																				
60歳～69歳																				
70歳～																				
70歳～79歳																	1	1		
80歳以上																	1			